

地域住民が主体となった道路緑化による景観形成を支援します。

～地域の子どもから大人へ、台場みらいの森づくり～

一般国道12号旭川市台場地区みちと緑のワークショップ

- 1 取組趣旨：一般国道12号旭川新道台場地区の整備に合わせ、地域住民を主体とした道路緑化により造成された『台場みらいの森』の維持管理を通して、地域と連携、景観の保全を図る
- 2 取組内容：『台場みらいの森』は、地域住民との検討会を開催して森づくりプランを策定し、平成20年度から3カ年計画で、台場地区の「小鳥の森」で採取したドングリの種を育苗、成長した苗木を実施場所へ移植するなど地域住民との連携協働により造られた森である。
平成23年度は除草、清掃活動を通して地域との連携協働による景観の保全を図る。
- 3 参加等の目的：活動場所として道路用地を提供すると共に、緑化活動を通して地域との連携を図り、良好な景観保全をサポートする
- 4 実施時期：平成23年7月～11月
- 5 実施場所：国道12号 旭川市台場
- 6 実施主体：旭川市台場地区市民委員会（平成21年度、VSP団体を設立）
- 7 協働主体：旭川開発建設部、旭川市
- 8 取組における各者の役割
 - ・実施主体：除草・清掃活動の企画・運営
 - ・旭川開発建設部：場所の提供、除草・清掃活動への参加
 - ・旭川市：資材の提供、除草・清掃活動への参加



平成22年度の活動(苗木の植樹)

●緑づくり実施の流れ

